

日本臨床救急医学会・日本救急看護学会共催 第2回シンポジウム
「救急電話相談の現状と今後の展望」 **プログラム**

開催日時：2026年4月11日（土）12:30～17:00 予定

会場：東京都医師会館 講堂（東京都千代田区神田駿河台2-5）

■ **開会の辞**（12:30～12:35）

日本看護協会 常任理事／日本救急看護学会 代表理事 浅香 えみ子

■ **基調講演「受療前救急電話相談という仕組みの軌跡と今後」**（12:35～12:50）

社会医療法人社団 正志会 救急災害医療連携・DX 推進部門／東洋大学情報連携学 学術実業連携機構

日本臨床救急医学会 代表理事 森村 尚登

■ **第1部 看護師業務と教育の進展**（12:50～14:50）

テーマ：「救急電話相談における看護師業務の現状と教育体系の標準化」

司会 産業医科大学／日本救急看護学会 理事、救急電話相談トリアージ委員会担当理事 立野 淳子

司会 港南台病院／日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

演題1 福岡県#7119における、看護師教育・研修体制と教育効果の検証について

社会医療法人 青洲会本部 伊藤 重彦

演題2 院内電話相談トリアージの現状と課題

文京学院大学 今井 亮

演題3 救急電話相談の教育体制整備における学術団体の役割

名古屋市立大学大学院 船木 淳

演題4 加算要望に向けたデータ蓄積の必要性

公立昭和病院 平柳 和奈

演題5 救急電話相談トリアージの質保証に向けた院内体制整備

薬師寺慈恵病院 大村 正行

【特別発言】看護師専門領域の一つとしての救急相談業務

福島県立医科大学附属病院 宮崎 博之

総合討論

<<休憩>>（14:50～15:00）

■ **第2部 医師・運営者・AIの関わり**（15:00～16:55）

テーマ：「医師・運営者・AIの関わり」

司会 名古屋市立大学大学院／日本救急看護学会 理事、救急電話相談トリアージ委員会委員長 船木 淳

司会 順天堂大学医学部附属練馬病院／

日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会担当理事 杉田 学

演題1 学会の役割 緊急度概念

港南台病院／緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

演題2 埼玉県 AI 救急相談事業の現状とこれから

自治医科大学附属さいたま医療センター 守谷 俊

演題3 電話救急医療相談での AI 化におけるプロトコル検証方法

日本大学医学部 櫻井 淳

演題4 ORION を使った#7119 のエビデンス

大阪大学救急医学 織田 順

演題5 AI 活用システム開発の進捗

社会医療法人社団 正志会 救急災害医療連携・DX 推進部門／東洋大学情報連携学 学術実業連携機構

日本臨床救急医学会代表理事 森村 尚登

【特別発言】#7119の全国展開に向けた消防庁の取組

総務省消防庁 消防・救急課救急企画室 辻 正一

総合討論

■ **閉会の辞**（16:55～17:00）

港南台病院／日本臨床救急医学会 緊急度判定体系のあり方に関する検討委員会委員長 高橋 耕平

以上